

IX. 海外留学

世界の多様性を学んで、将来世界で活躍する人材となることを願い、在学中の海外留学を積極的に推進・支援しています。

	留学先	学籍異動	修業年限 算入	単位認定	授業料
在学して の留学	交流協定を締結してい る大学等(※)から選ぶ	在学→留学	可	時間に余裕を持って 留学前に教務課に相 談してください	本学に払う 留学先には払わない
休学留学	自由に選べる	在学→休学	不可		留学先に払う 本学には払わない

※交流協定を締結している海外の大学（別表1参照）

1. 留学前の情報収集

留学を実現するには、明白な目的と将来計画を持って、主に①留学先の選定、②留学時期の検討、③留学に必要な語学能力の習得、④留学資金の確保といった準備が必要になります。そのためには、ウェブサイトでの情報検索や資料の収集、指導教員や留学経験のある先輩、国際交流推進センターや教務課へ相談など、早めの積極的な情報収集が大切です。

(語学力)

英語圏に留学を希望する場合は、TOEFL (Test of English as a Foreign Language) iBT の得点がおおよそ 79 以上又は IELTS (International English Language Testing System) の得点が 6.0 以上必要とされています。

なお、留学先によっては、TWE (Test of Written English) の受検が必要な場合があります。

非英語圏への留学を希望する場合は、その国・地域の公用語等、要求される語学力が異なります。

いずれの場合も、必ず留学先の情報を確認してください。

(教育事情)

留学先の学年暦 (Academic Year) は大学によって異なりますので、入学が可能な時期について事前に調べておくことが必要です。

(留学費用)

渡航費、滞在費、生活費及び授業料などについてあらかじめ情報収集し、十分な資金計画を立てることが大切です。留学先での奨学金獲得やアルバイト収入を見込んだ計画は立てないでください。留学生のアルバイトを禁止又は制限している国・地域が多数あります。

2. 奨学金等

留学を支援するための奨学金には、文部科学省・地方自治体・民間団体及び外国政府が実施するものがありますが、対象となる専攻分野や留学対象国・地域が限定されている場合もあります。これらの募集案内は、ホームページ、KOAN 掲示板、学内掲示等により行われますので注意しておいてください。

3. 留学先での授業料等不徴収

別表1に記載されている海外の大学のうち、授業料等不徴収枠を定めた協定を締結している大学に留学する場合は、検定料、入学料及び授業料の納入が不徴収となる制度があります。ただし、適用される人数や申請期限がありますので、留学の1年前には、以下5. に挙げる照会先に直接確認してください。

4. 海外危機管理サービス「OSSMA」への加入について

大阪大学では、海外での危機管理体制を強化するため、平成28年6月以降に以下に掲げる海外渡航を行う正規課程の学生については、海外危機管理サービス「OSSMA」(*)への加入が義務付けられました。

◆加入必須となる海外渡航

- ①大阪大学が主催又は募集・選考するプログラムで海外渡航する場合
- ②大阪大学を通じて経済的支援（奨学金等）を受けて海外渡航する場合

例) 交換留学、本部及び部局がコーディネートする語学研修プログラム、授業での海外研修等

※ 加入が必須となる場合は本人に予め通知します。

◆加入費用

加入必須となる海外渡航の場合は、原則として会費の半額を個人負担となります。(残りの半額は大学が負担します)

※上記以外で、大阪大学を通さず、個人で海外留学やインターンシップ、フィールドワーク等に参加するため海外渡航する場合は任意加入としますが、昨今の世界情勢からできるだけ加入することを推奨します。ただし、会費は全額個人負担となります。

*OSSMA (オスマ) とは

本学が提携している日本エマージェンシーアシスタンス(株)の海外安全危機管理サービス (Overseas Student Safety Management Assistance) です。海外渡航中の相談事に対するアドバイスや海外医療支援、安否確認等を行います。ただし、海外旅行保険のようにけがや病気の治療費、事故の加害者となった場合の賠償費用などの保証はありませんので、別途海外留学保険には必ず加入してください。

5. 問合せ先

これまでの記述について、不明な点並びに詳細な内容に関しては、以下まで照会してください。

① 国際交流推進センター (生物工学国際交流センターα棟1階)

- ・海外留学全般に関する相談および短期語学研修についての照会に応じています。
- ・工学英語など専門英語教育に関する相談に応じています。

【Email】 contact@fsao.eng.osaka-u.ac.jp

② 工学研究科教務課 (U1M棟1階)

- ・部局間学術交流協定に関する修業年限、奨学金、留学先での授業料等不徴収などについての照会に応じています。

【E-mail】 iso-staff@eng.osaka-u.ac.jp

③ 国際部国際学生交流課/国際教育交流センター (吹田キャンパスICホール内)

【E-mail】 exchange@ciece.osaka-u.ac.jp

別表1 交流協定締結大学等一覧

(平成30年3月1日現在)

国・地域名	協定別	協定大学等名	不徴収適用人数
アメリカ合衆国	大学間	ウェズリアンカレッジ	女子 2
		カリフォルニア大学	25
		カリフォルニア大学サンディエゴ校	×
		カリフォルニア大学バークレー校	×
		コーネル大学	×
		ジョージア大学	3
		テキサスA&M大学	6
		ナザレスカレッジローチェスター校	5
		パデュー大学	5
		ライス大学	5
		ローレンスリバモア国立研究所	×
	ワシントン大学	10	
	部局間	アイオワ大学工学部	×
		カリフォルニア大学サンディエゴ校生体構造研究センター	×
コロラド州立大学		×	
ミネソタ大学生物工学研究所		×	
		ロチェスター大学工学・応用科学部、レーザーエネルギー研究所、光学研究所	×
アルゼンチン共和国	部局間	国立農牧技術院	×
イタリア共和国	部局間	聖アンナ高等大学	5
インド	大学間	インド工科大学ハイデラバード校	5
	部局間	インド工科大学ハイデラバード校（※学生交流に関する覚書）	5
		インド工科大学カンブール校	5
		タタ基礎研究所自然科学研究科	×
		ブラズマ研究所	×
インドネシア共和国	大学間	アイルランガ大学	4
		インドネシア大学	2
		ガジャマダ大学	2
		バンドン工科大学	5
	部局間	インドネシアコーヒーココア研究所	×
		インドネシア科学院・クリーンテクノロジー研究ユニット	×
		インドネシア科学院・地質技術研究所	×
		インドネシア科学院・物理学研究センター	×
		インドネシア学術コンソーシアム（バンドン工科大学生命科学技術学部およびガジャマダ大学大学院）	短期（60日以内） 10
			長期（1年以内） 6
		インドネシア大学工学部	5
		スディルマン将軍大学数学・自然科学部	5
		スラバヤ工科大学	5
		バンドン工科大学産業技術学部（※学生交流に関する覚書）	5
バンドン工科大学数学・自然科学部	5		
ボゴール農科大学	10		
英国	大学間	キングス・カレッジ・ロンドン	×
		シェフィールド大学	学部生 5
		ノッティンガム大学	1
		リーズ大学	5
エジプト・アラブ共和国	大学間	アレキサンドリア大学	3
	部局間	サダトシティ大学	3
オーストラリア連邦	大学間	アデレード大学	5
		オーストラリア国立大学	5
		クィーンズランド大学	3
		モナシュ大学	10
	部局間	マッコーリー大学理工学部	5
		ロイヤルメルボルン工科大学	×

別表1 交流協定締結大学等一覧

(平成30年3月1日現在)

国・地域名	協定別	協定大学等名	不徴収適用人数
オーストリア共和国	大学間	ウィーン大学	5
オランダ王国	大学間	グローニンゲン大学	5
		デルフト工科大学	5
	部局間	アイントホーフェン工科大学工学部	2
		グローニンゲン大学数学・自然科学部	5
カタール国	大学間	カタール大学	5
カナダ	大学間	トライアンプ研究所	×
		トロント大学	5
		ブリティッシュ・コロンビア大学	5
		マックマスター大学	5
サウジアラビア王国	大学間	キング・アブドゥルアジーズ大学	×
シンガポール	大学間	シンガポール国立大学	3
		南洋理工大學	5
	部局間	シンガポール国立大学医学部生化学科	×
スイス連邦	大学間	スイス連邦工科大学チューリッヒ校	4
		スイス連邦工科大学ローザンヌ校	5
スウェーデン王国	大学間	イエーテボリ大学	2
		カロリンスカ大学	×
		スウェーデン王立工科大学	2
スペイン	大学間	バリアドリード大学	×
		マドリッドアウトノマ大学	5
タイ王国	大学間	カセサート大学	5
		タイ王国保健省医科学局	×
		タマサート大学	5
		チェンマイ大学	5
		チュラロンコン大学	5
		マヒドン大学	5
		モンクット王トンブリ工科大学	5
	部局間	コーンケン大学医学部	5
		タイ学術コンソーシアム（マヒドン大学理学部、チュラロンコン大学理学部、カセサート大学理学部およびモンクット王トンブリ工科大学生物資源学部）	短期（60日以内） 30 長期（1年以内） 10
		チュラロンコン大学工学部（※学生交流に関する覚書）	10
		プリンス・オブ・ソングラー大学	3
		マヒドン大学公衆衛生学部	5
		マヒドン大学熱帯医学部	5
		モンクット王トンブリ工科大学工学研究科および工学部	15
モンクット王ラカバン工科大学工学部	5		
国家遺伝子工学バイオテクノロジーセンター	×		
大韓民国	大学間	漢陽大学校	5
		慶尚大学校	5
		昌原大学校	5
		ソウル大学校	5
		中央大学校	5
		忠南大学校	5
		延世大学校	2
		釜山大学校	10
		全南大学校	5
	部局間	国民大学校科学技術学部	3
		ソウル大学校工学研究科および工学部（※学生交流に関する覚書）	5
		金鳥工科大学校	5
台湾	大学間	国立交通大学	3
		国立清華大学	5

別表1 交流協定締結大学等一覧

(平成30年3月1日現在)

国・地域名	協定別	協定大学等名	不徴収適用人数
台湾	大学間	国立成功大学	5
		国立台湾大学	5
	部局間	国立台湾大学工学研究科および電気情報研究科（※学生交流に関する覚書）	5
		国立台湾海洋大学工学院	5
チェコ共和国	部局間	マサリク大学	×
中華人民共和国	大学間	清華大学	3
		同済大学	5
		南京大学	5
		北京師範大学	5
		香港科技大学	×
		香港大学	5
		香港中文大学	2
		上海交通大学	5
		西安交通大学	5
		武漢大学	5
		復旦大学	3
		北京大学	5
		浙江大学	5
	部局間	内モンゴル師範大学化学・環境科学学院	2
		華北電力大学核科学工学院	3
		広東工業大学生物医薬研究院	2
		吉林大学自動車工学院	3
		上海師範大学生命環境科学学院	5
		西北大学化学・材料科学学院	3
		大連理工大学建設工学部	5
		中国科学院国家ナノ科学センター	×
		中国科学院上海光学精密機械研究所	×
		中国科学技術大学大学院	×
南開大学泰達学院	3		
湖南大学化学化工学院	5		
北京高压科学研究センター	×		
デンマーク王国	大学間	コペンハーゲン大学	5
ドイツ連邦共和国	大学間	アーヘン工科大学	5
		アウクスブルク大学	5
		エアランゲン・ニュルンベルク・フリードリヒ・アレクサンダー大学	5
		カールスルーエ工科大学	5
		ゲッティンゲン大学	5
		ハイデルベルク大学	5
		ビーレフェルト大学	5
		ベルリン工科大学	5
		ミュンヘンルートヴィヒ・マクシミリアン大学	5
		ミュンヘン工科大学	5
	ヨハン・ヴォルフガング・ゲーテ大学フランクフルト・アム・マイン	5	
	ルール・ボーフム大学	5	
	部局間	アーヘン工科大学数学・計算機科学・自然科学部（※学生交流に関する覚書）	6
		アウクスブルグ応用化学大学機械・プロセス工学部	5
		ビーレフェルト大学テクノロジー学部（※学生交流に関する覚書）	5
	ネパール連邦民主共和国	部局間	トリブバン大学工学部
ハンガリー	大学間	エトヴェシュ・ロラード大学	5
バングラデシュ人民共和国	部局間	ダッカ大学生物科学部	5

別表1 交流協定締結大学等一覧

(平成30年3月1日現在)

国・地域名	協定別	協定大学等名	不徴収適用人数
フィリピン共和国	大学間	アテネオ・デ・マニラ大学	3
		デ・ラ・サル大学	5
		フィリピン国立大学	3
	部局間	デ・ラ・サル大学理学部（※学生交流に関する覚書）	5
		フィリピン大学ディリマン校	5
		フィリピン大学ロスバニョス校（※学生交流に関する覚書）	短期（60日以内） 10
			長期（1年以内） 5
		フィリピン師範大学大学院教員教育研究科および教員養成科	5
	フィリピン大学ロスバニョス校文理学部数理学部物理学	5	
	ライシウム・オブ・ザ・フィリピン大学バタンガス校/ラグナ校	5	
フィンランド共和国	大学間	オーボアカデミー大学	5
		ヘルシンキ大学	5
ブラジル連邦共和国	大学間	カンピーナス大学	7
		サンパウロ大学	5
	部局間	州立ロンドリーナ総合大学技術・都市センターおよび科学センター	2
フランス共和国	大学間	エコール・ポリテクニク	×
		エクス・マルセイユ大学	3
		グルノーブル大学連合	7
		ストラスブール大学	6
		パリ・サクレ大学	×
		パリ国立高等化学学院	5
		ピエール・マリー・キュリー大学	3
		フランス国立科学研究センター	×
	部局間	ボルドー大学	5
		セルジー・ポントワーズ大学科学技術学部	5
		ナント中央理工学院	5
		パリ・ラヴィレット建築エコール	3
		ピエール・マリー・キュリー大学知能ロボットシステム研究所（※学生交流に関する覚書）	5
		光学研究院大学院	5
	鉱業・情報通信研究機構	4	
	国立高等電子応用大学院	3	
ブルネイ・ダルサラーム国	大学間	スルタン・シェリフ・アリー・イスラミック大学	5
		ブルネイ・ダルサラーム大学	5
	部局間	ブルネイ・ダルサラーム国 経済産業資源省	×
ベトナム社会主義共和国	大学間	カントー大学	×
		日越大学	10
		ハノイ医科大学	5
		ハノイ国家大学	5
		ベトナム科学技術アカデミー	×
		ホーチミン市国家大学	×
	部局間	ハノイ工科大学生物工学および食品工学部	5
		ハノイ国家大学科学大学（※学生交流に関する覚書）	5
		ハノイ国家大学ナノ・エネルギーセンター（※学生交流に関する覚書）	5
		ホーチミン市国家大学工科大学、自然科学大学、国際大学（※学生交流に関する覚書）	短期（60日以内） 10
		長期（1年以内） 5	
	ホーチミン市国家大学自然科学大学（※学生交流に関する覚書）	4	
ペルー共和国	大学間	ローマ教皇庁立ペルー・カトリック大学	3
ベルギー王国	大学間	Interuniversitair Micro-Electronica Centrum vzw (IMEC)	×
		ルーヴェンカトリック大学 (UCL)	4
	部局間	リエージュ大学応用工学部および応用工学研究科	5
		ルーヴェン・カトリック大学工学部	5

別表1 交流協定締結大学等一覧

(平成30年3月1日現在)

国・地域名	協定別	協定大学等名	不徴収適用人数
ポルトガル共和国	部局間	リスボン大学工学部	5
マレーシア	部局間	マレーシア科学大学	5
		マレーシア科学大学生物科学部	3
		マレーシア工科大学	×
		マレーシア工科大学マレーシア日本国際工学院	5
		マレーシア国民大学科学技術学部	5
ミャンマー連邦共和国	大学間	ヤンゴン大学	5
メキシコ合衆国	大学間	メキシコ国立自治大学	4
モロッコ王国	部局間	モハメド5世大学理学研究科	5
		モロッコ・サイエンスイノベーションリサーチ財団	×
モンゴル国	大学間	モンゴル国立大学	2
ロシア連邦	大学間	サンクトペテルブルク大学	7
		ロシア科学アカデミー	×

(参考) 交流協定締結大学 <http://www.osaka-u.ac.jp/ja/international/action/exchange>

別表2 ダブル・ディグリー・プログラム等(※) 協定提携大学一覧

(平成30年3月1日現在)

国・地域名	課程	協定大学等名	標準修業年数	定員	
イタリア共和国	博士前期課程	聖アンナ高等大学通信・情報・知覚に関する研究所※	2年※	8※	
インドネシア共和国	博士前期課程	バンドン工科大学生命科学技術学研究所	3年	5	
		博士後期課程	バンドン工科大学産業技術学科	4年	5
			バンドン工科大学数学・自然科学科	4年	5
英国	博士前期課程	アストン大学工学・応用科学部※	2年※	8※	
オランダ王国	博士前期課程	アイントホーフエン工科大学光集積研究所※	2年※	8※	
タイ王国	博士前期課程	マヒドン大学理学研究科	3年	3	
		モンクット王トンブリ工科大学工学研究科	2年	2	
		モンクット王トンブリ工科大学生物資源工学研究科	2年	2	
フィリピン共和国	博士後期課程	デ・ラ・サール大学理学研究科	4年	5	
		フィリピン師範大学教員教育研究科	4年	5	
マレーシア	博士後期課程	マレーシア科学大学化学工学部	4年	5	

※ダブル・ディグリー・プログラムの対象者は博士前期・後期課程の学生のみです。

※聖アンナ高等大学(伊)、アストン大学(英)、アイントホーフエン工科大学(蘭)とはエラスムス・ムンドゥス博士前期課程プログラムに基づくマルチプル・ディグリー・プログラムの協定を結んでいます。